

令和7年度 第2回大津市教科用図書選定審議会【会議概要】

日時：令和7年7月4日（金）18:00～20:30

会場：大津市役所新館2階 災害対策本部室

1 出席者

(1) 選定審議会委員（6名）

榎本恵理委員、山田淳子委員、大貫大輔委員、小森美恵子委員、山尾健一委員、菊谷愛委員

(2) 事務局（4名）

田中義也学校教育課長、南出晃学校教育課長補佐、中西香織学校教育課主任指導主事、奥田研二学校教育課主査

2 会議の要旨

(1) 開会

[事務局]

現時点で6名中5名（後に6名全員）の出席があり、大津市教科用図書選定審議会規則第5条第2項に規定する定足数を満たしているため、議事を進めることとする。なお、審議会は、協議する議事の内容を考慮し、採択後まで非公開とする。

(2) 本日の議題について

[会長]

本日の審議会の議題について、事務局より提案を求める。

[事務局]

本日の議題は、推薦図書の決定方法に係る審議及び教科用図書選定審議票について。その後、各教科用図書の閲覧及び研究を行う。

(3) 推薦図書の決定方法について

[会長]

推薦図書の決定方法について、意見を求める。

意見がないようなので、事務局より提案を求める。

[事務局]

資料1「小中学校特別支援学級教科用図書評価用紙（一般図書）」に、今回調査研究した一般図書が掲載されている。それぞれの図書について、特別支援学級の教科用図書として採択するに相応しいと思う図書に○印を、相応しくないと思う図書に×印をつけ、図書ごとに集計する。集計結果を基に協議し、過半数の賛成を得た図書を推薦図書とすることについて議決をお願いする。特別支援学級の授業で使用することに問題がないと判断した図書は全て推薦図書とし、子どもたちの様々な発達課題に対応できるよう選択肢を広げたい。

<異議なし>

[会長]

小学校、中学校の教科書についてはどうすべきか。事務局より説明を求める。

[事務局]

小学校各教科の教科用図書は、令和5年度に採択され令和6年度より使用開始されている。中学校各教科の教科用図書は、令和6年度に採択され令和7年度より使用開始されている。義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第15条に、種目ごとに同一の教科用図書を採択する期間は4年間と定められているため、令和8年度においても引き続き現行の教科書を使用することとする。

(4) 教科用図書選定審議票について

[会長]

教科用図書選定審議票について、事務局より説明を求める。

[事務局]

資料2「大津市小中学校教科用図書選定審議票（特別支援学級）」は、調査研究員が教科用図書についての調査研究結果をまとめたもの。大津市教科用図書採択の基本方針に沿って、「主体的・対話的で深い学びに関すること」、「基本的人権に関すること」、「ユニバーサルデザインに関すること」の3つの観点について、特別支援学級での使用を想定し調査研究を行っている。なお、ユニバーサルデザインの観点に関連し、色覚特性模擬レンズを用意しているため、教科用図書の配色がどのように工夫されているのかを検証する際に活用されたい。

<質疑応答>

[会長]

前回採択の際は県の観点が併記されていたと思うが、今回はないのか。

[事務局]

県と市で選定している図書が違うため、今回は記載していない。なお、県の資料については別紙を参照されたい。

(5) 教科用図書の閲覧、研究について

[事務局]

採択候補となっている図書について、審議票を参考にしながら、実際に閲覧いただきたい。なお、滋賀県が作成した資料や教科書目録、また教科書展示会におけるアンケートについても、併せて確認いただきたい。

[会長]

19時30分まで、審議会委員の調査研究の時間とする。

<教科用図書の閲覧、研究（約50分間）>

(6) 教科用図書についての意見交流

[会長]

閲覧、研究した図書について、各委員より意見を求める。

[委員]

生きていくのに必要な知識を効率よく身に付けるのに特化している。

[委員]

質問だが、教科書は毎日持ち帰らせているのか。

[事務局]

できるだけ過重にならないよう、教科書は学校に置いていることが多い。宿題が出た

時だけ持って帰らせるように配慮している。

[委員]

小学生にとっては、少し分厚いかな、と思うようなものがあった。

[委員]

理科の図書について、小学校でも中学校でも使える内容。例えば、本校2年生の児童は、現在元素記号を頑張って覚えている。そういう子には、3年生になって手に取る理科の教科書では物足りないが、こういった図書で勉強することで、理科が好きになるきっかけになる。

[委員]

道徳の図書について、『ここを育てるおはなし』は気持ち別の索引があり、自分の気持ちを調べながら、その時の気持ちによって扱う内容を変えられ、一人ひとりを尊重している。一方で、『答えのない道徳の問題』は、小中学生には少し難しいのではないか。

[委員]

『答えのない道徳の問題』は字が小さい。書かれている内容はよいが、解説も少し難しいのではないか。

[委員]

それぞれの本の良さがある。現在、学校では対話を意識した学習が進められているが、自分ひとりですっと本を読むのが好きな子もいる。どの本も工夫されているので、多種多様に教科書を選択し、うまく活用できればよい。

[委員]

星本について、一般の教科書の完成度と比べるとややもの足りない。イラストや写真が、やや簡素化されているように見えた。

(7) 今後の開催予定について

[会長]

今後の進め方について、事務局より説明を求める

[事務局]

7月18日開催予定の第3回審議会では、前半に閲覧、研究及び意見交流の時間をとり、その後、推薦図書を決定する。

なお、教科用図書については、学校教育課で随時閲覧できるよう準備しておく。

(8) 閉会

(9) 事務連絡

[事務局]

第3回審議会は7月18日の18:00より開催する。